

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Java III	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	6 単位	
学 年	2年次	時間数	120 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Javaのサーバーサイドプログラミングについて学びます。 JSP & サーブレットの仕組みを理解し、環境を構築し、実際にWebシステムの開発作業を通して、実践に近いシステム作りのノウハウを学習します。			
到達目標	Servlet と JSP を利用したサーバ側のアプリケーション開発ができる。 Tomcat の仕組みを理解し、アプリケーションをデプロイすることができる。 eclipse を活用したWebアプリケーションの開発ができる。 データベースにアクセスすることができる。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	サーブレットとJSPの基本概念		
	2	サーブレットの作成手順		
	3	サーブレットの作成手順		
	4	web.xml と 文字のエンコーディング		
	5	フィルターの実装方法		
	6	HTTPプロトコルのGET及びPOST処理		
	7	アノテーションの利用とHEADER情報の取得		
	8	JSPの実装方法		
	9	JSPの実装方法		
	10	サーブレットとJSPの連動		
	11	サーブレットとJSPの連動		
	12	Eclipseによる開発		
	13	Webアプリケーションの状態管理		
	14	EL式とカスタムタグ		
	15	データベースの操作演習		
授業の進め方・履修の心構え	Java言語を利用したWebアプリケーション開発の技能を身に付けることを前提とします。 Tomcatを使用し、実際に演習しながらWebアプリケーション開発の基礎知識を学んでいきます。			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	就職支援	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	4 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。本科目の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	内定取得及び社会人としての基礎を身に付ける			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	現状分析と今後の活動スケジュール		
	2	送付状について、封筒表書き練習、封入方法		
	3	ビジネスメール、電話での問い合わせ、オンライン試験上の注意		
	4	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	5	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	6	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	7	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	8	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	9	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	10	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	11	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	12	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：暑中見舞いの書き方		
	13	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：名刺交換や来客マナーについて		
	14	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：名刺交換や来客マナーについて		
15	就職活動振り返りと今後のスケジュール			
授業の進め方・履修の心構え	いよいよ就職活動の本番がスタートです。自身でスケジュールを立て、計画的に進めましょう。応募書類作成や面接練習は早に準備するよう心掛けましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 就職活動の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	3Dグラフィック	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Blenderを使用した3Dモデル制作を学習します。まずは基礎的な内容から始め、レンダリングやアニメーション等の3DCGには欠かせない技術を学習します。			
到達目標	基本的な3D技術の理解及び習得を目標とする。習得した技術を使いオリジナルのモデルを作ります。			
教科書・教材	作りながら楽しく覚える Blender/ラトルズ			
授業計画	回	内 容		
	1	Blenderの基本操作・初期設定		
	2	モデリング・モデリングの基礎		
	3	モデリング・キャラクター		
	4	質感設定 (マテリアル・UVテクスチャ)		
	5	モデリング・応用		
	6	カメラ・ライティング・レンダリング		
	7	モデリング (背景) +レンダリング		
	8	アニメーション・モーショント		
	9	ボーン・ウェイトマップ		
	10	キャラクターアニメーション		
	11	復習と自由制作準備		
	12	自由制作		
	13	自由制作		
	14	自由制作		
15	制作物発表および評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、問題解答と演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Word演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Wordの基礎となる設定を理解し、ビジネス文書や見栄えのする文書を作成・編集するための高度な技術を学習していきます。さらにもう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	高度な編集技術を身に付け、文書処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Wordマスター演習問題集 2021/2019/365対応／ムゲンダイ出版 2021対応Word文書処理技能認定試験1・2級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	入力練習と文書編集		
	2	段落書式		
	3	表の挿入と編集		
	4	差し込み印刷		
	5	ヘッダー・フッター		
	6	スタイル		
	7	グラフィックスの挿入		
	8	相互参照・目次・索引		
	9	変更履歴とコメント		
	10	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	11	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
15	検定試験対策 6 (知識・実技問題の実施及び解説)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらWordを使いこなす応用力や考える力を養います。 1級取得を目指してほしいです。			
目標資格	Word文書処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	ゲーム制作 I	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー-学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本講座は、Unityエディターによるゲーム開発の基礎講座です。 授業を通して、ゲーム開発の基本概念を理解し、ゲームデザインの基礎を習得することが学習目標です。			
到達目標	1.Unityエディターの基本的な操作方法を習得し、ゲームオブジェクトの配置、操作、設定を理解する 2.C#言語の基本構文を理解し、Unityでのスクリプト制作に必要なプログラムを記述できるようになる 3.物理エンジンの利用方法を学び、オブジェクトの動きや衝突をシミュレートできるようになる 4.アニメーションとユーザーインタラクションの実装方法を習得し、ゲーム内の要素を魅力的に表現できるようになる 5.ゲームデザインの基礎を学んで、プレイヤーエクスペリエンスを向上させる要素やゲームメカニクスを考える能力を身に付ける 6.テストとデバッグの方法を理解し、問題を発見して修正するスキルを磨く			
教科書・教材	Unityの教科書 Unity 2023完全対応版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	イントロダクション：ゲーム制作について、Unityとは		
	2	C#スクリプトの基礎：変数、制御文、配列、メソッド		
	3	C#スクリプトの基礎：クラス定義、Vector2Dクラス		
	4	テキスト：「占いルーレット」の作成		
	5	テキスト：「寸止めゲーム」の作成①		
	6	テキスト：「寸止めゲーム」の作成②		
	7	テキスト：「矢をよけるゲーム」の作成①		
	8	テキスト：「矢をよけるゲーム」の作成②		
	9	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成①		
	10	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成②		
	11	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成③		
	12	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成④		
	13	課題：自由制作		
	14	課題：自由制作		
15	課題：自由制作			
授業の進め方・履修の心構え	テキスト並びにそれに準じた課題制作を通じて、ゲーム開発に必要な基本スキルを身に付けます。 ・積極的に授業に参加し、知識を吸収する意欲を持ちましょう ・集中して授業内容を理解し、質問や議論に積極的に参加しましょう ・新しい概念や知識に対して柔軟な考え方をもち、理解に時間がかかっても忍耐強く取り組みましょう			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	プレゼンテーション I	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、PowerPointの基礎的な使用方法、活用方法を学習します。また実践（準備・発表・評価）を通して、コミュニケーション能力および自己表現能力を高め、就職試験や面接に向けた対策を行います。			
到達目標	就職活動開始時に自己紹介と自己アピールができる			
教科書・教材	PowerPoint			
授業計画	回	内 容		
	1	科目説明 / プレゼンテーションの定義・目的・基本的な作り方		
	2	練習課題①		
	3	伝わる資料とは		
	4	わかりやすいとは		
	5	練習課題②		
	6	フォントについて		
	7	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置～		
	8	資料が見やすくなるデザインの基本～色・強調～		
	9	練習課題③		
	10	わかりやすい話の構成の仕方		
	11	話し方の基本		
	12	伝わる話し方とは		
	13	視線・ボディコントロールについて		
	14	実践課題①		
15	実践課題②			
授業の進め方・履修の心構え	プレゼンテーションをすることの目的を理解し、相手に伝えるとはどういうことかを考えることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	CSS・WebSite構築	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	スマートデバイスが普及しWebの利用形態も多様化しています。様々なデバイスに対応可能なWebデザイン手法について、実践を通して学びます。			
到達目標	ゼロから自分でデザインしWebサイトを構築できる			
教科書・教材	Figma これからはじめるFigma Web・UIデザイン入門			
授業計画	回	内容		
	1	Webデザインのための環境構築		
	2	ワイヤーフレーム作成方法		
	3	既存のサイトからワイヤーフレーム作成		
	4	デザインカンパ作成方法		
	5	デザインカンパ作成方法		
	6	デザインカンパ作成方法		
	7	デザインカンパ作成方法		
	8	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	9	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	10	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	11	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	12	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	13	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	14	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング		
15	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング			
授業の進め方・履修の心構え	Figmaの使い方を学び、ゼロからデザインを作成しそこからWEBサイト作成することができるようになっていきます。コーディングをデザインに沿って正確に行えるようにします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	一般教養 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	本科目では、主に就職試験対策を行います。筆記試験、適性検査に出題されやすい一般常識問題や、漢字書き取り、計算問題、SPI問題について学習します。			
到達目標	就職試験において、筆記試験50点(半分)以上を取得できる。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	計算問題/計算の工夫		
	2	割合/集合/数列		
	3	料金の割引・分割・精算/損益算		
	4	仕事算/濃度算/虫食い算		
	5	速さ/旅人算/通過算		
	6	濃度算/n進法		
	7	順列・組合せ/確率		
	8	資料解釈/表の読み取り/長文の読み取り		
	9	命題と論証/推論		
	10	領域/ブラックボックス/物の流れと比率		
	11	二語関係		
	12	語の意味/語彙・慣用句/ことわざ・四字熟語		
	13	空所補充/文書整序		
	14	長文読解		
15	総合演習			
授業の進め方・履修の心構え	「一般教養 I」を履修したことが条件となります。より実戦向きの学習のため、課題はもちろん自身の積極性がより求められます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	グループワーク II	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	総合制作を間近に控えたクラスを対象に開講。システムや作品を作り上げるために学年を越えて意思交換、意見交換をスムーズに行うために簡単なグループワークを通して学ぶことを目的とします。			
到達目標	簡単なグループワークを通して他学年との交流深め、他者との意思交換できる力を身につける。 1. 他学年との交流を深める。 2. 他学年との意思交換、意見交換を行う。 3. チームで1つのもの作成を行う。			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内 容		
	1	チームでの作成物を考える		
	2	設計、作成①		
	3	設計、作成②		
	4	設計、作成③		
	5	設計、作成④		
	6	設計、作成⑤		
	7	プレゼン		
	8	チームでの作成物を考える		
	9	設計、作成①		
	10	設計、作成②		
	11	設計、作成③		
	12	設計、作成④		
	13	設計、作成⑤		
	14	設計、作成⑥		
15	プレゼン			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	国家試験対策 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	2年次		時間数	30 時間
開講学期	前 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策 I」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに科目Bの問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材	基本情報技術者科目B問題集／(株)インフォテック・サーブ 基本情報技術者科目B模擬試験／TAC(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	2	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	3	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	4	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	5	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	6	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	7	小テスト		
	8	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	9	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	10	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	11	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	12	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	13	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	14	小テスト		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策 I」を履修したことが条件になります。科目Aの問題よりさらに専門的な知識を求められるので、今まで学習した基礎知識の復習が大切になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 模擬試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	コミュニケーションⅡ	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職試験対策講座である。面接やインターンにおける必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための考え方を学び、手法の練習を行います。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方や人前での発表（プレゼン・スピーチ等）の仕方なども学びます。			
到達目標	<p>簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 面接やインターンなどでの話題作りや話し方を身に付ける。</li> <li>2. 人前での話し方、きき方の基本を身に付ける。</li> </ol>			
教科書・教材	オリジナルテキスト			
授業計画	回	内容		
	1	ビジネス敬語の使い方		
	2	時事ネタの考え方		
	3	時事ネタの考え方／ディスカッション		
	4	時事ネタの考え方／ディスカッション		
	5	話すときの心構え		
	6	効果的な話し方		
	7	バズセッションによる意見交換手法		
	8	バズセッションによる意見交換実践		
	9	組織におけるコミュニケーション基礎		
	10	組織におけるコミュニケーション基礎		
	11	インタビューとヒアリング		
	12	スピーチ手法		
	13	プレゼンの手法		
	14	ほうれんそうの実践		
15	ほうれんそうの実践			
授業の進め方・履修の心構え	コミュニケーションⅠに続く科目になります。就職活動における面接やインターンでの発表など人前で「はなす」「きく」のヒントになる授業内容です。様々なことを吸収して就職活動に活かしていきましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p> <p>(2) 課題の提出状況</p> <p>(3) グループワークによる評価</p>			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	SQL演習 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	SQL文だけではなく、実際にある身近なものをデータベース化するための設計手法を学び、上流工程であるデータベース設計を習得します。			
到達目標	複数のテーブルを使用使用したSQLの習得と、データベースの設計手法について理解を深める。			
教科書・教材	スッキリわかるSQL入門第3版／(株)インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	MySQLのインストール		
	2	MySQL Workbenchの使い方を学ぶ		
	3	副問い合わせ		
	4	副問い合わせの練習問題		
	5	テーブルの結合		
	6	テーブルの結合の練習問題		
	7	データベース概念設計		
	8	データベースの論理設計		
	9	データベースの物理設計		
	10	データベース設計の練習問題		
	11	データベース設計(グループワーク)①		
	12	データベース設計(グループワーク)②		
	13	データベース設計(グループワーク)③		
	14	データベース設計(グループワーク)④		
15	作成したデータベースの発表			
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに進めていき、実際にSQLを実行していきます。 また、データベース設計では、教科書を学ぶだけではなく、グループでデータベース設計を行ってもらいます。			
目標資格	OSS-DB Silver			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成状況			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	総合制作	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	8 単位	
学 年	2年次	時間数	240 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、これまでに学んだことの集大成です。プロジェクトを立ち上げてシステム開発に取り組みます。チームメンバーとコミュニケーションをはかり、協力してシステムを完成させます。同時にシステム開発工程についても理解を深めていきます。</p>			
到達目標	<p>本学でこれまで履修した科目で学んだ知識・技術を活かし、チームで成果物を完成させる。</p>			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・プロジェクトの概要説明・制作物の決定		
	2	制作 (要件定義書作成)		
	3	制作 (要件定義書作成)		
	4	制作 (仕様書作成)		
	5	制作 (仕様書作成)		
	6	制作 (仕様書作成)		
	7	制作 (コーディング)		
	8	制作 (コーディング)		
	9	制作 (コーディング)		
	10	制作 (コーディング)		
	11	制作 (単体テスト)		
	12	制作 (単体テスト)		
	13	制作 (結合テスト)		
	14	制作 (結合テスト)		
15	制作発表準備・制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	<p>毎回の始まりと終わりにチームミーティングを行います。 チーム制作の為、報告・連絡・相談を意識して制作に努める必要があります。</p>			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) プロジェクトの参加状況および貢献度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物および制作発表による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	JSP・Servlet演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	サーブレットやJSPの基本知識を応用し、独自で簡単なWebアプリケーションの構築を実践します。入手しやすくインストールも簡便なApache Tomcatをアプリケーションサーバーとして使用し、MySQLのデータベースを操作します。前期の実習時間が少なかったことを補うように、多くの時間をプログラムの開発に割り当てます。			
到達目標	与えられた課題について、前期のJavaIIIで学んだサーブレットやJSPの知識を生かし、独自でアプリケーションを構築します。ログイン操作、データベースへの登録、登録したデータの表示、変更、削除等の機能を実装します。就職後、即戦力になるような応用能力を身に付けることを目標とします。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内容		
	1	要求仕様の理解や計画		
	2	データベース設計		
	3	〃		
	4	プログラムの作成		
	5	〃		
	6	〃		
	7	〃		
	8	〃		
	9	〃		
	10	〃		
	11	〃		
	12	〃		
	13	プログラム動作の検証及びテストの実施		
	14	〃		
15	プレゼンでの発表			
授業の進め方・履修の心構え	独自で与えられた要求仕様に基づいてアプリケーションを完成する技能を身に付けることを前提とします。前期で学んだサーブレットやJSPの基礎知識を応用し、実際に簡単なアプリケーションを開発していきます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および理解度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	ビジネスマナーⅡ	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	社会人として働くうえで、多種多様なビジネスシーンにおける様々なビジネスマナーが存在します。本科目では、社会人としてより早く自立し、円滑に仕事ができるよう知識・スキルを学びます。			
到達目標	卒業後に社会人として、自信をもって行動できる基礎を身に付ける。			
教科書・教材	改訂新版 入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社オリジナル			
授業計画	回	内容		
	1	社内のビジネスマナーとルール1～効率的な仕事の進め方、時間について		
	2	社内のビジネスマナーとルール2～機材や文房具の使い方		
	3	社内のビジネスマナーとルール3～一日の時間の使い方、人間関係		
	4	第7章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第7章 報告・連絡・相談 実践演習		
	6	第8章 来客対応の基本		
	7	第9章 他社訪問の基本		
	8	第4章 テレワークの基本		
	9	第11章 会食の基本～洋食とコミュニケーションの取り方		
	10	第11章 会食の基本～和食とコミュニケーションの取り方		
	11	第11章 会食の基本～立食とコミュニケーションの取り方		
	12	第12章 基本的な慶弔マナー		
	13	新入社員に割り振られる仕事 実践演習1		
	14	新入社員に割り振られる仕事 実践演習2		
15	新入社員に割り振られる仕事 実践演習3			
授業の進め方・履修の心構え	ビジネスマナーⅠに続く科目になります。社会人としての振る舞いを身に付けましょう。 毎週、授業開始10～15分程度で、前週に学んだことの振り返りとして小テストを行います			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況、小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	



授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Access演習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	データベースの基本から「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった主要機能、関数やマクロまでを、データベースの活用事例を通じて、実務レベルにおけるAccessの利用方法・操作技法を習得します。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	Accessの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、ビジネスデータベース技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Access 2019 テキスト基礎編／ムゲンダイ出版 2021対応Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	Accessの基礎		
	2	テーブル作成と編集		
	3	フォーム作成と編集		
	4	クエリ 1		
	5	クエリ 2		
	6	クエリ 3		
	7	クエリ 4		
	8	リレーションシップ		
	9	レポート作成と編集		
	10	サブフォームとサブレポート		
	11	マクロ		
	12	検定試験対策 1		
	13	検定試験対策 2		
	14	検定試験対策 3		
15	検定試験対策 4			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 学習内容が多く進み方も早いです。欠席しないようにしてください。			
目標資格	Accessビジネスデータベース技能認定試験 2 級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	ゲーム制作II	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー-学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ゲーム制作Iで身につけた、Unityの操作・設定方法およびC#プログラミングの基礎知識と技術を用い、3Dゲーム開発の手法を学習します。3Dゲームに必要な要素を理解し、自分で設計した内容をゲームとして表現できるようになることを目的とします。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Dオブジェクトについて理解し、コントローラースクリプトを記述できるようになる</li> <li>・地形の変形やテクスチャを使用し、Terrainを作成することができる</li> <li>・パーティクルを用いたエフェクト表現ができる</li> <li>・アニメーションや効果音、UIを設定し、ゲームの品質を高めることができる</li> </ul>			
教科書・教材	Unityの教科書 Unity 2023完全対応版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内容		
	1	Unity3D概要 操作基本		
	2	3Dオブジェクトの準備		
	3	3Dオブジェクトの準備、Terrainについて		
	4	地形の作成、テクスチャ		
	5	地形の作成、テクスチャ		
	6	物理演算、重力、当たり判定について		
	7	スクリプトのアタッチ、シーン切り替え		
	8	スクリプトのアタッチ、シーン切り替え		
	9	エフェクトの表現方法		
	10	Prefabの作成と設定		
	11	UI設計について		
	12	オリジナルゲーム課題制作		
	13	オリジナルゲーム課題制作		
	14	オリジナルゲーム課題制作		
15	オリジナルゲーム課題制作			
授業の進め方・履修の心構え	<p>講師による説明後、演習を行います。</p> <p>習った技術は、まずやってみる・色々試してみるというトライ&amp;エラーを意識して取り組みましょう。</p>			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況および完成度</p> <p>(2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p> <p>(3) オリジナル制作物による評価</p>			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	HTML応用 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	2年次		時間数	60 時間
開講学期	後 期		授業形態	実 習
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	webサイトにおいて動きのあるサイトを作成する方法を学びます。 そのために必要な最新のJavaScriptの基礎知識とjQuery、CSSを学びます。			
到達目標	WEBサイトに様々な動きやデザインを組み込むことができるようになり、それを活用してサイトを構築する。			
教科書・教材	確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの環境構築とSCSSについて		
	2	JavaScriptの基本文法		
	3	JavaScriptのイベントとオブジェクト		
	4	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	5	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	6	ゲーム制作課題		
	7	ゲーム制作課題		
	8	jQueryについて/ナビゲーションメニューやアニメーション		
	9	WebAPIについて		
	10	WebAPI課題		
	11	単位認定課題①		
	12	単位認定課題②		
	13	単位認定課題③		
	14	単位認定課題④		
15	単位認定課題⑤			
授業の進め方・履修の心構え	最初は教科書に沿って基礎的なことを学び、演習で自分で調べて実装する力を身につける。学んだことを生かして、プログラミングしWebページに組み込むことができる。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	プレゼンテーション II	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目では、「プレゼンテーション I」で学んだ内容を基に、プレゼンテーションの本質を学んでいきます。</p> <p>プレゼンテーションの本質を学び、仕事・日常生活における人を動かす術を学びます。</p>			
到達目標	総合制作発表で行うプレゼンテーションの資料作成と発表準備を行う。			
教科書・教材	いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 人気講師が教える「人の心をつかむプレゼン」のすべて/インプレス PowerPoint			
授業計画	回	内 容		
	1	科目説明、プレゼン力演習 1		
	2	プレゼン力演習 2		
	3	プレゼンテーションの本質を		
	4	人を動かすプレゼンテーション 1		
	5	人を動かすプレゼンテーション 2		
	6	実践演習 1		
	7	実践演習 2		
	8	プレゼンテーション資料作成 前編		
	9	プレゼンテーション資料作成 後編		
	10	実践演習 3		
	11	実践演習 4		
	12	練習で自信をつける		
	13	総合演習 1		
	14	総合演習 2		
15	総合演習 3			
授業の進め方・履修の心構え	「プレゼンテーション I」を履修したことが条件になります。ディベートを通して自身の意見を発信し、協調性を高めることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況及び完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 総合制作発表におけるプレゼンテーションでの評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点</p>		<p>C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格</p>	



開講年度	2024年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	MCP受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点</p>		<p>C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	MOS受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
15	問題の内容理解と練習 (Access)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	